

実効ある成長戦略の推進と 未来を担う人づくりで真の地方創生を!!



我が国の人口減少が加速するなか、富山県の人口も2025年には100万人を割り込むと推計されています。特に、子どもに関しては、過去には1万人を超えていた中学校卒業予定者数が2035年には7千人を割り込むとの推計もあり、教育体制の抜本的見直しを踏まえた教育環境の整備・充実が急務です。

私は、こうした教育問題をはじめとした厳しい時代の潮流にも真摯に向き合い、課題に対して果敢に挑んでいきたいと思っています。以下、私が考える今後の取り組み、政策への思いをご覧ください！

1 実効ある成長戦略の推進に向けて

富山県は「富山県成長戦略」に沿い、次の柱建てで施策を推進するとしています。

①「真の幸せ」ウェルビーイング戦略

県民が幸せを実感し、多様な人材が生き生きと暮らせる環境づくり

②まちづくり戦略

富山らしく、個性的で自由な文化風土のあふれるまちづくり

③ブランディング戦略

県民やゆかりの方々一人ひとりがその魅力を発信したくなる富山県づくり

④新産業戦略

新たな分野で企業が育ち、「外貨」を稼げる自立した経済圏づくり

⑤スタートアップ支援戦略

突き抜けた人材やチャレンジングな人材が起業しやすい環境づくり

⑥県庁オープン化戦略

フットワークの軽い職員の育成、県民や民間が連携しやすい県庁組織づくり。県民の皆さんへの分かりやすさ、スピード感を重視し、早期に実効があがるよう、県当局と向き合っています。

＊ウェルビーイングとは、世界保健機構憲章の前文における「Health（健康）」の定義の中で、「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべて満たされた状態にあること」、それがウェルビーイングであると説明されています

2 少子化時代を見据えた 教育環境づくりに向けて

「教育は100年の計」と言われます。人口減少下においても教育の質を確保するには、高校の魅力や人づくりの在り方の根本に関する議論に早急に取り組まなければなりません。

①学びへの意識が変わる中、学校が受け皿として十分機能しうるか、その検証に早急に取り組めます

②経済状況等で学びが制約されることがないように、学ぶ機会の保障や学習支援に取り組めます

③多様性の時代に合った、ニーズに応じた指導・支援ができる教育環境づくりに取り組めます

④教育環境を時代のニーズに合ったものとするため、県立高校の施設・設備の整備・充実に取り組めます

⑤本県ならではの特色ある教育を確立し、「学びにきたい富山県」を目指します

